

小野川放水路事業の効果について

小野川は、利根川洪水時にその水位の影響を受けるとともに、現河道の流下能力不足、さらに橋梁部分が障害となり、過去より度々氾濫が生じています。

小野川放水路は、市街地で人家が密集している地区で川幅を広げることを避け、洪水を速やかに利根川に排出するために建設されました。

過去の主な洪水の浸水実績

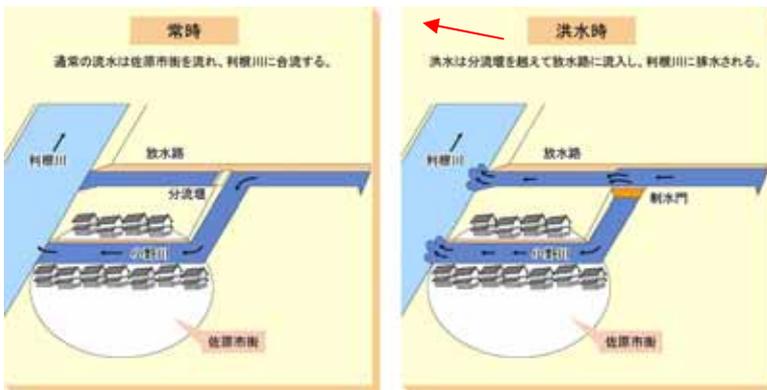
洪水名	浸水面積 (ha)	浸水家屋戸数(戸)		
		床上浸水	床下浸水	合計
昭和33年9月	628.0	381	818	1199
昭和46年9月	1017.2	69	410	479
平成3年9月	240.0	0	5	5
平成8年9月	360.0	1	14	15
平成11年10月	244.0	61	621	682
平成13年10月	178.0	7	57	64



佐香江橋付近

平成11年10月洪水の浸水状況(左)と浸水実績図(上)

小野川放水路事業では**早期に効果を発揮するために重点投資**を行いました。これにより平成15年度に完成、平成16年度より供用を開始しています。



小野川の治水計画は、通常の流水はこれまでと同じように佐原市街を流れ利根川に合流します。しかし、市街地区間の流下能力を上回る洪水が発生すると、洪水は放水路を通じて利根川に排出されます。



小野川放水路は道路と平行して施工されるトンネル放水路です。



小野川放水路による効果イメージ(洪水時)